

### 3歳児健診に弱視予防 「屈折検査」導入



公明党  
潮田 幸子

**問** 3歳児健診に「視機能検査機器フォトスクリーナー」による屈折検査導入はできるか。



**答** 3歳児健診での屈折検査は弱視の早期発見・治療に有効な手段と考え、機器導入を検討します。

**問** 帯状疱疹は、激しい痛みを伴い神経痛が残ることもある。帯状疱疹予防ワクチン接種費用助成はできるか。

**答** 国の検討結果や先行市を注視し、慎重に検討していきます。

**問** 現在、防災ラジオは世帯主と事業所への貸与のみだが、自治会や自主防災会に貸与できるか。

**答** 要綱を改正し希望する組織へ貸与できるように進めます。

○その他の質問

- ・日常生活用具給付へ「暗所視支援眼鏡」の追加
- ・子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨再開への対応
- ・高齢者向けの「スマホ教室」の開催について

### チームオレンジの取組 重層的支援体制の整備



公明党  
永沼 博昭

**問** チームオレンジの立上げまでの流れは。

**答** 認知症地域支援推進員等の専門職と連携を図りながら、チームオレンジコーディネーターのマッチングにより、支援を希望する認知症の人やその家族とオレンジサポーターを結びつけ、認知症の人ごとのチームオレンジを作っていきます。

**問** 高齢者、障がい、子育て、生活困窮などの相談で、縦割りとなっている福祉行政を変えるため、市の相談体制強化のための重層的支援体制整備事業構築に向けての進捗状況は。

**答** 令和4年4月に本支援体制がスタートできるよう、検討委員会、検討部会として、組織案や事業イメージを作成し、全体的な最終調整を行っています。本支援体制を構築した際は支援者となる民生委員・児童委員、地域包括支援センター、社会福祉協議会等へ協力依頼し、周知と啓発を行っていく予定です。

### 東口エレベーター設置 LED防犯灯設置



公明党  
橋本 稔

**問** 国土交通省が駅バリアフリー化に前向きな検討しているが、以前より要望していた鴻巣駅東口エレベーター設置はできないか。

**答** 高齢者・障がい者等全ての人に利用しやすい環境を目指し、駅直結のエレベーターの設置に取り組む必要は認識しています。様々な課題を解決する必要があり、設置可能場所、補助金活用の財源措置等、事業化に向けた検討を進めていきます。

**問** 行き止まり道路にLED防犯灯の設置ができないか。

**答** 防犯灯設置及び管理要綱ではおおむね60メートル間隔で設置することになっています。行き止まり道路については明確な基準がないため、他市の事例を参考に運用基準を定め、設置を検討していきます。

- その他の質問
- ・消えかかった路面標示の補修
  - ・小中学校のバリアフリー
  - ・粗大ゴミ申請・手続の簡略化

### ICT教育の推進 带状疱疹ワクチン助成



鴻創会  
金子 裕太

**問** 本市ICT教育において、端末使用率向上はされているか。また、施策推進のため、学校支援課内にICT専任の職員を配置すべきだと考えるが、見解は。

**答** 平均して1日に1回以上の利用がされており、児童・生徒自身が自らの判断で自発的に活用するなど、利活用の質的な向上も多く見られます。指摘のICT専任職員配置は、大変効果的だと考えますが、現状の人員配置の中で、各課等が強みを生かしながら、より緊密に連携・協力し、様々な課題に対応していきます。

**問** 以前質問した带状疱疹ワクチンの費用助成について市医師会からも要望が出ており、早急に検討すべきだと考えるが見解は。

**答** 現時点では、相談体制や助成対象年齢、抗体の持続期間、安全性などについての情報収集し、安全に安心して市民に接種してもらえるよう、市医師会と協議していきます。

### 脱炭素社会実現に向けた 取組は



鴻創会  
金子 雄一

**問** 行政の役割は。

**答** 取組を推進するため、市民の日である10月1日に「鴻巣市ゼロカーボンシティ宣言」を市長が表明しました。本市としては、市民や事業者に理解してもらうために、まずは啓発を行うということが重要と考え、来年1月の広報よりゼロカーボンについて毎月掲載するとともに、ホームページ、SNS等も活用し発信します。また、環境基本計画や地球温暖化対策実行計画の見直しを行い、課題等を整理するとともに環境整備や教育推進を行うため、来年度に向けて計画の改定や啓発用パンフレットの作成、また、「鴻巣市住宅用省エネルギー設備設置費補助金」交付の他、新たな補助内容や予算の拡充についても検討します。

○その他の質問

- ・浄化槽の状況
- ・市税の収納状況
- ・上尾道路建設に伴う文化財の発掘調査が必要な時の対応

# 一般質問 市政そここが知りたい？

## 新ごみ処理施設周辺対策



令和ここのす  
坂本 晃

**問** 鴻巣市行田北本環境資源組合の新ごみ処理施設整備が鴻巣市長の決断により、令和元年12月12日に白紙解消となった。その時の計画に対して周辺整備対策の要望が出されていたが、その中の排水路対策はどのようなものだったのか。

**答** 宮殿落悪水路、一ノ宮落悪水路、市管理水路の整備要望が出されてきました。

**問** 約11億円かかると言われ、調査の結果約7億円程度が妥当と言われた、余熱利用施設（温浴施設）についての要望はどのようなものだったのか。

**答** 構成市民及び近隣住民の交流や健康及び福祉増進に寄与することができるとの要望がありました。新たな枠組みによる基本合意により、埼玉中部環境保全組合を事業主体として新施設に関する事務が開始された後に組合に対して提言していきます。

## 官民連携協定の推進・令和4年度の予算編成



鴻創会  
金澤孝太郎

**問** 協働のまちづくりで、企業や団体・学校等との連携協定が目されているが本市の状況は。

**答** 本市は17件の包括連携協定と100件を超える個別連携協定を締結し、取組状況等を広報紙や市ホームページ等に掲載しています。自治体の地域課題の解決には、民間企業等との連携・協働が有効で、新たな価値観を生み出す可能性も期待できます。連携協定の活用を促進し全庁的な浸透を図ります。

**問** ポストコロナを見据えた、令和4年度予算編成の見通しは。

**答** 来年度は第6次総合振興計画後期基本計画の初年度となります。コロナ対策の新しい生活様式で持続可能なまちづくりを展開するためDXの未来技術を取り入れ、SDGsを原動力とした地方創生への取組を推進します。重点化・優先順位を明確化した予算編成で、来年度の当初予算は前年同様の390億3500万円程度の予測となります。

## 県内初の認知症条例を制定する考えは



やさしい改革  
加藤 久子

**問** 長寿社会に伴い、認知症患者も増加しており、全国で2012年には462万人だった患者が2025年には約700万人となり、65歳以上の約2割まで増加するとの推計もある。条例制定することで、市民に認知症への理解を深めてもらうと同時に、患者や家族との共生意識を高めてもらい、地域全体で温かく見守る仕組みづくりにつなげるため、県内初の認知症条例を制定する考えは。

**答** 本市では、平成26年から認知症地域支援推進員を、27年には、認知症初期集中支援チームを設置するなど、認知症の人を支援する仕組みづくりを開始しています。さらに、認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターをつなぐチームオレンジの取組を開始したため、条例を制定する考えはありませんが、認知症の人が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる社会の実現を目指します。

## 災害時EV車の活用は小学生のマスクの対応



鴻創会  
織田 京子

**問** 災害時に電気自動車の電源を照明の確保や機材の電源に使用できる。電気自動車を市民へ災害時に活用する事は避難所に避難出来なかった人達への電源として有効だが市の考えは。また今後電気自動車を増やす考えは。

**答** 本市では、避難所となる小学校に発電機と給電機能を備えた太陽光パネル付照明灯を設置していますが、避難者が増加した場合に電力不足が生じる恐れがあり電気自動車による電力の供給は有効だと認識しています。電気自動車は、今年度に1台購入し計画的に増やす予定です。

**問** マスクの常時使用は子供の脳に酸素が十分に届かないため脳の機能低下を心配する保護者の声がある。マスクの使用について小学校から柔軟な対応を。

**答** 体育の授業や十分な距離を確保できる時、本人が息苦しく感じた時はマスクを外しても良いため今後もこの方針で基本的にマスクの着用を考えています。

## 空き家対策 いじめ防止の具対策



公明党  
川崎 葉子

**問** 空き家等適正管理の取組は。現在、把握している空き家は724件で、うち苦情・相談のあった空き家は287件です。令和3年度は11月末現在、改善依頼の通知は76件に送付し、このうち43件は改善しています。

**問** 課題解決の具体策は。

**答** 老朽空き家の減少を図るため、解体工事に係る補助制度を検討していきます。

**問** いつ頃実施するのか。

**答** 来年度の実施に向け、補助要件等の内容を検討しています。

**問** 学習者用端末を活用したいじめ予防の取組ができないか。

**答** 広く情報収集に努め、積極的に研究を行っていきます。





### 吹上小学校の通学区 3歳児健診の視覚検査



こうすず自民  
頓所 澄江

意見交換会の様子は。

**問** 北新宿地区は吹上小から下忍小へ、筑波・吹上本町・榎戸1丁目地区は吹上北中から吹上中へ変更とする教育委員会の提案に対して様々な意見がありましたが、山積する課題を解決するために最善の方策と考えます。

**答** 通学区変更の進め方は。

**問** 年内に教育委員会の考えを示し、年度内には通学区区域審議会に諮問し、保護者との意見交換会やアンケート等を実施します。

**答** 通学区区域変更にあたり、経過措置や弾力化の考えは。

**問** 課題に直面している保護者が抱える不安や心配ことが軽減されるよう通学区の見直しに伴う経過措置や通学区の弾力化の対応も踏まえて検討します。

**答** 3歳児健康診査の視覚検査に「屈折検査」を導入する考えは。

**問** 弱視の早期発見と早期治療の重要性に鑑み、有利な補助金を活用し、「屈折検査」実施のため、機器の導入を検討します。

### 水道事業計画の進捗状況と財政見直し



かいえんたい  
秋谷 修

**問** 浄水場の耐震化計画の進捗状況は。

**答** 市が管理する浄水場の耐震化は、平成27年度に策定した「鴻巣市水道施設更新及び耐震化計画」に基づき進めており、令和元年度、2年度の2カ年で、箕田浄水場のN01配水池及び、管理棟の耐震工事を実施しました。今年度からは、馬室浄水場の耐震化を進める予定でしたが、水道施設耐震工法指針の改定が遅れており、来年度の改定を待って実施する予定です。



**問** 財政の見直しに変化は。

**答** 令和2年度までの実績に基づき、財政の見直しとの差異を見たところ、収益的収支においては財政の見直しを上回っています。また資本的収支においては年度間によりばらつきはあるものの、財政の見直しの範囲の中でおおむね収まっています。

### 地域注目度ランキング 第1位



鴻創会  
田中 克美

**問** みんなでつくる地域応援サイト「生活ガイド・com」の10月期の地域注目度ランキングによると鴻巣市は県内第1位。全国で第4位であった。また、「全国戻りたい街ランキング2021」では県内第1位、全国第18位であった。今回の民間サイトの発表をどのように受け止めているのか。

**答** みんなでつくる地域応援サイト「生活ガイド・com」では全国の市区を対象とした「地域注目度ランキング」を発表しており、11月期の順位は全国で第1位、日本で最も注目されている自治体に選ばれ、本市としては、大変喜ばしい事項であると感じています。「県内で最も戻りたい街」であるという発表は、豊かな自然環境や安全で利便性の高い住環境のもと、これまで取り組んできたまちづくりが、市民や鴻巣市で生まれ育った多くの人に評価してもらったものと考えています。

### 埼玉県との覚書内容は 3回目接種日程内容は



チームコスモス  
中野 昭

**問** 自宅療養者の把握は、これまで保健所から毎月15日と月末の2回だった。今回、埼玉県との覚書を令和3年10月27日、締結したが、その主な内容は。また、PCR検査が実施できる市内医療機関数は、いくつあるのか伺う。

**答** 覚書締結後は日々、県から自宅療養者の情報が提供されることになりました。また、PCR検査実施医療機関数は26です。

**問** 3回目接種のスケジュールと予約方法、本市に県から配布されるワクチンの割合はどのようになっているのか伺う。

**答** スケジュールは2回目接種8カ月後を前提に令和4年1月中旬から医療従事者、2月上旬から介護施設従事者、2月中旬から3月中旬にかけて、75歳以上という順となっています。予約方法は前回同様を考えています。また、ワクチンの県から本市に供給される割合はファイザー製55、モデルナ製45です。

### 中小企業等の振興に関する、市の考えは



鴻創会  
加藤 英樹

**問** 鴻巣市中小企業及び小規模企業振興基本条例策定の後には、市として実施計画の作成をしていくことが望ましいと考えるが見解は。

**答** 中小企業等の振興に関する施策を、総合的に推進していくため、現在すでに実施している事業と懇話会委員からの意見等を参考に、他市町村の支援状況等を調査することで、本市の実情に沿った実施計画的なものを作成していく予定となっています。

**問** 中小企業者等が経営革新計画を策定していくにあたり市としてサポートを検討しては。

**答** 事業者が経営革新計画を作成し埼玉県承認を受けることにより、様々な支援が受けられるため、事業者の業績拡大や向上が期待されることから、市としても注力すべきと考えています。○その他の質問  
・新ごみ処理施設の検討状況  
・鴻巣駅東口のエレベーターの設置に向けた検討促進について

# 一般質問 市政そここが知りたい？

## 自衛官募集名簿提供、 個人情報扱いは



おりづる  
菅野 博子

**問** 令和3年度予算で自衛官募集事務委託金が4万7000円計上された。本市の募集状況について名簿提供はどのように行われているか。防衛省は自衛隊法97条や同法120条を根拠とし、18歳と22歳の住民の個人情報提供を求める要請を全国自治体に文書で行っている。防衛省は憲法9条の下で「平生から他に脅威を与えるような兵器を持つ」とは憲法の趣旨ではない。」と説明してきた。本市の対応を問う。

**答** 本市では自衛官募集の記事を広報ががやきに、またフラワー号にもポスターを掲載しています。募集期間・試験期日等を記載したメモ帳を配布するなど広報宣伝をしました。令和2年度の採用は、8人です。毎年、自衛隊埼玉地方協力本部長から、対象者の氏名、生年月日、性別、住所の情報提供の依頼があり、本市は住民基本台帳の一部の写しの閲覧を認め、適正に事務を行っています。

## 生活道路の整備 下水道の雨水対策



ここのす自民  
野本 恵司

**問** 身近な道路が整備されていると、気持ち良い生活を送ることができると、道路整備の要望はどのように扱うのか。

**答** 市民からの整備要望や不具合の通報は、まず現地確認を行い必要な補修を随時行います。路線の改修は、毎年、道路等整備箇所評価検討委員会を検討し、計画的に整備しています。

**問** 本年3月、鴻巣市雨水管理総合計画が策定されたが、令和元年台風の浸水被害への対応は。

**答** 令和元年東日本台風では、道路冠水43カ所、床下浸水が18カ所発生しました。特に被害が多かった元荒川と箕田赤見台都市下水路が合流する周辺の鴻巣・沼田地区では、県による元荒川の堤防高上げや浚渫が行われ、本市も箕田赤見台都市下水路の高上げを行い、箕田赤見台ポンプ場の水門改修工事も令和3年12月10日に完成しました。今年度中に、ポンプ場調整池の清掃・浚渫を行う予定です。

## アフターコロナ・ウィズコロナ、市の考えは



ここのす自民  
芝崎 和好

**問** 第6波が懸念されているなか今後の公共施設の利用の仕方、学校行事の考え方は。

**答** 今まで「ここのす安心宣言」に基づき3密回避やマスク着用・手洗い、入館時の感染防止対策を行っており、引き続きオミクロン株等の状況を注視しながら施設の利用提供に努めます。学校行事では感染状況を踏まえ、今後も児童生徒に最大限の配慮を図りながら、実施の可否について校長会と連携しながら対応します。

**問** 12歳未満へのワクチン接種についての考え方は。

**答** 小児へ行う場合、速やかに接種を開始できるようにその準備に留意すべきと、国から示されています。国から供給や接種予定が示されたときは、速やかに接種できるように市医師会と協議を開始しています。

○その他の質問

- ・鴻巣市消防団の再編について

## 多様性に寄り添う教育 生ごみの堆肥化で減量



日本共産党  
諏訪三津枝

**問** 本市では昨年度、31人の小学生・116人の中学生が30日以上学校を休み不登校となった。個性や多様性に対応しない教育が要因で、不登校になっているのでは。

**答** 学校・家庭・本人に起因するなど様々です。コロナによる臨時休校の影響も見受けられます。教育機会確保法施行後は、取組の見直しを行っています。「不登校というだけで問題行動だと受け取られないよう配慮すること」「児童生徒の意思を十分に配慮すること」「登校復帰だけを求めないこと」を共通理解し支援をしています。

**問** 地球温暖化による気候変動が起きている。環境問題を考える絶好の機会。焼却しない処理の方策として「生ごみの堆肥化」を本格的に進めることは。

**答** 令和4年4月から埼玉中部環境保全組合で進める新施設の事務で検討されるものと考えます。

## 駅東口にエレベーター 設置に向けた検討は



日本共産党  
竹田 悦子

**問** 鴻巣駅東口のエレベーター設置について、9月議会でも市長は、難しいとしているが、同時に必要と認めている。どうすれば設置できるのか検討すること、調査費を予算化することは。

**答** 既存の駅施設にエレベーター設置可能場所などの協議を継続するほか、既存建築物の構造や耐火性能等を調査しつつ、国や県の補助金活用などの財源措置等、来年度より事業化を見据えた調査を行う中で、技術的な課題など検討していきます。

**問** 市民は、1日も早く設置することを望んでいる。いつまでにエレベーターを設置しようとしているのか、今後のスケジュールは。また「にぎわい交流館」のエレベーターは単独で建築確認を取っている。これらも含めた検討は。

**答** スケジュール等についても調査の中で検討していきます。

○その他の質問

- ・補聴器購入補助制度について